

昭和29年夏、前年に「東京物語」を撮り終えた小津安二郎は、脚本家であり盟友の野田高梧に伴われ、初めて蓼科高原の野田の山荘「雲呼荘」を訪れました。

「蓼科日記」に、8月18日、小津が最初に記した感想が「雲低く寝待月出でて、遠望模糊、まことに佳境、連日の俗腸を洗う」とあります。

蓼科の自然、人情、旨い酒がすっかり気に入り、それまでの「茅ヶ崎館」から蓼科に仕事場を移し、「東京暮色」以降没するまでの6作品全てのシナリオが、ここ蓼科で書かれることとなります。

小津安二郎監督(左)と脚本家 野田高梧

小津安二郎記念館 無藝荘

令和8年 開館日 / 開館時間 10:00~16:00

- 4月 29(水/祝)、30(木)
- 5月 1(金)~6(水/振)、16(土)、17(日)、23(土)、24(日)、30(土)、31(日)
- 6月 6(土)、7(日)、13(土)、14(日)、20(土)、21(日)、27(土)、28(日)
- 7月 4(土)、5(日)、11(土)、12(日)、18(土)~31(金)
- 8月 全日開館
- 9月 1(火)~6(日)、12(土)、13(日)、19(土)~23(水/祝)、26(土)、27(日)
- 10月 3(土)、4(日)、10(土)~12(月/祝)、17(土)、18(日)、24(土)、25(日)、31(土)
- 11月 1(日)~8(日)

こほり おういちろう
小堀鷗一郎 医師
講演会

「蓼科今昔」

7月20日(月/祝) 13時~

小津安二郎記念
蓼科高原映画祭
9/26(土)・27(日)

- 入館料はお一人様200円(中学生以下は無料)です。
 - 4月から11月の期間内であれば、閉館日でも5名様以上で開館します。
 - 貸切利用でのお申し込みも承ります。
- ※ご希望の方は一週間前までに蓼科観光協会へお申し込みください。